



上小だより

厚真町立上厚真小学校
学 校 便 り
第 4 号
令和6年6月28日

～考える子 思いやりのある子 頑張り抜く子～

「当たり前」は揺れ動く

校長 清水 京子

青空が広がり、日差しも強くなってきました。夏至を過ぎ、気温の高い日も増えてきましたが、森から吹く風が爽やかなこともあり、子ども達は初夏を楽しみ、元気に学習活動に取り組んでいます。

一月前の上厚真小学校大運動会は、肌寒い日の実施となりましたが、真剣に競技に向かう子ども達の熱い姿や互いを応援し合う温かな様子は、ご観覧いただいた皆さまの心を温かくしてくれたのではないのでしょうか。たくさん声援、そして久しぶりのPTA 種目の実施等、保護者や地域の皆さまと一緒に運動会を楽しみ、盛り上げてくださったことは、子ども達にとっても素敵な思い出になったことでしょう。ありがとうございました。

さて、上小運動会でも行った「ラジオ体操」、小学校の運動会では今も準備運動として行っている学校が多いのではないのでしょうか。1年生もしっかり覚え、かっこ良く体を動かしていました。保護者の皆さまも、子どもの頃は夏休みに地域で「ラジオ体操」があり、毎朝早起きして参加した、という方もいるでしょうから、ほとんどの人は「ラジオ体操」ができるはず…。

それが「当たり前」と思って大学のサークルで準備運動として取り入れていたけれど、ある日、飛び入りで参加した外国人が戸惑う姿を見て、「ラジオ体操が誰でもできるのは日本だけ」ということに改めて気が付いた、という話を新聞で読みました。同じように、例えば「野球のルール」「漫画の読み方：どのコマ

からどの順序で読むか」等、日本人が「当たり前」に知っていること・身に付けていること・できることでも、それは常に万人の「当たり前」ではない、という内容でした。

そもそも、私たちの「当たり前」はどのようにして形成されるのでしょうか。自分が暮らす地域での共通の経験や知識、学校生活を通して身に付けたこと、さらにはメディアを通じて共有した情報等から、多くの共通した知識基盤ができ、「誰でも知っている当たり前のこと」がつくられていくわけです。

少し前までは、日本社会全体で経験や知識や情報が「共通の」「共有した」ものだったので、「当たり前」はほとんどの人にとって「当たり前」だったと思います。しかし、今は、同じ地域で暮らす人たちでも、経験や得る知識・情報が多様な社会となり、自分の「当たり前」が他の人と同じではない場合も多くあるのです。世代や出身国が異なれば、「当たり前」が違うのは「当たり前」…。

学校でも、「当たり前」という言葉が使いにくくなったな、と感じます。これまでの学校は「みんなの当たり前」を教える場所でしたが、子どもも家庭も多様化する今、一人一人の違いを尊重することを重視するようになったからです。つまり、学校の「当たり前」も、もう「当たり前」ではない。学校も新しい「当たり前」を見つけていくことが求められるのです。

7月1日の開校記念日を過ぎれば、夏休みまで1ヶ月。今年の夏休みは期間が長いですから、夏休みの過ごし方を話し合いながら、1学期の学習や生活のまとめに取り組んでいきたいと思います。

運動会終了～ありがとうございました

当日は肌寒い中でしたが、無事に運動会を終えることができました。今年度も多くの方が子ども達の応援に駆けつけてくださいました。子ども達にとって何よりの力になりました。

また、PTAの環境整備や駐車場整理、当日の片付けと多くの保護者の方にご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



ご協力お願いいたします

★保護者アンケート

7月中旬より「保護者アンケート」を実施します。このアンケートは、保護者の皆さまから本校の学校運営や教育活動についてご意見をうかがい、今後の改善に繋げるために実施するものです。詳細につきましては後日配付する文書をご確認ください。

なお、保護者アンケートと同時に「児童アンケート」や教職員による自己評価も行う予定です。アンケートの結果、及びそれをもとにした改善策につきましては、2学期にお知らせいたします。

★保護者面談

ご多用の中、日程調整にご協力いただきありがとうございました。1人約15分間と短い時間ではありますが、お子さんの4月からの成長や今後に向けての目標、配慮や対応が必要なことなどを共有したいと思います。

予定していた日程でご都合がつかなくなった場合は、必ず学校までご連絡ください。



●子供のSOSの相談窓口

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

●北海道いのちの電話 011-231-4343

(毎日24時間対応)

●子どもの人権110番 0120-007-110

(平日8:30-17:15)

●チャイルドライン北海道 0120-99-7777

(16:00-21:00 (12/29～1/3 除く))

7月の主な行事

- 1日(月) 開校記念日
- 2日(火) 全校遊び(1,2年)
- 3日(水) 全校遊び(3,4年)
- 4日(木) 特別日課
- 5日(金) 全校遊び(5,6年) 移動図書
- 10日(水) 4時間授業(給食あり)
- 11日(木) 特別日課
厚南地区CS学校見学
- 12日(金) 町内特別支援学級合同学習
移動図書
- 15日(月) 海の日
- 16日(火)～19日(金)
保護者面談 特別日課5時間
- 16日(火) スクールカウンセラー来校
- 17日(水) 北海道みんなの日
- 18日(木) 水泳学習開始
- 19日(金) 移動図書
- 23日(火) 1年食の指導
- 24日(水) 大掃除
- 25日(木) 特別日課
- 26日(金) 特別日課5時間(給食あり)
1学期終業式
- 27日(土)～8月25日(日)
夏季休業

上厚真小学校開校記念日

7月1日(月)は、上厚真小学校開校記念日でお休みとなります。1899年(明治32年)に浜厚真簡易教育所として開校してから今年で125周年となります。現在の場所に校舎が移転したのは1925年(大正14年)で、今の校舎ができたのは1994年(平成6年)です。

歴史ある地域の学校をこれからもみんなで大切にしていきたいと思います。

北海道みんなの日

7月17日(水)は、1869年(明治2年)に探検家松浦武四郎が、蝦夷地と呼ばれていたこの地を「北加伊道」という名称にしてはどうかと政府に提案した日とされています。平成29年に北海道の価値を見つめ直し、これからの北海道を考える日と条例で制定しました。公立施設の無料開放など様々な取組と合わせ、北海道に愛着や誇りを持ってもらい、北海道の魅力を発信する機会となっています。

詳しくは北海道ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/ss/717/event.html>